

令和2年度 運営方針策定及び予算編成に向けた意見票（集約）
 ≪活力・安全部会≫

●経営課題3 【コミュニティの活性化とまちの魅力の創出】

委員	ご意見
松本委員	素案13～16ページ、よくまとめられていて、ありがたいです。P15…地域経済活性化に関連して、私見を記述し、補強できればと思います。 ○ 1～2年間かけて、ゆっくりと活力・安全部会の委員の希望者を中心に、一消費者（お客さん）として、千林商店街振興組合、各商店（主）・京街道商店街、各商店・千林商店街へつながる小さな商店街をコツコツ訪問して、意見を集約していく。信頼関係ができないと、語ってもらえないし、商売の邪魔になります。大阪市経済局？の助言も必要になるかも。高齢者が増える中、居住地近くのスーパーで必要な物を、できるだけ安く購入する傾向があり、宅配を利用する人もいる。専門店といえども後継者がなく困っている？所もあると思う。個々の所得・売上げを伸ばすことが、活性化につながると考えています。
阪本委員	コンセプト➡「住みたいまち」「住んで良かった」まちづくり （1）すべての世代にとって安心安全な「まちづくり」を目指す。 （2）社会インフラの充実を図る。→教育・医療・交通網・文化施設・買物etc. （3）生産年齢人口（15～64歳）の定住人口の増加を図る。→魅力ある住宅の供給 （4）抽象的ではありますが→イメージづくり 例えば→「旭区」と言えば「まちの雰囲気がいいね！」

●経営課題4 【地域防災力・地域防犯力の強化】

委員	ご意見
松本委員	地域活動協議会・連合振興町会の役員の皆様がたの尽力により、区広報紙「広報あさひ」が、きちんと届けられ感謝しています。「広報あさひ」を隅から隅まで、すべて読めば情報が入ってきます。 ○「広報あさひ」が、すべての区民に届けられているのか。新しいオートロックマンション等で町会に入会されておられない区民への提供を検討してください。 ○一人暮らしの高齢者の見守りで、社会福祉協議会、各行政機関、町会役員さん等が、気にかけて巡回？等がおこなわれています。緊急連絡先、かかりつけ医[病院]等を記述した用紙[オレンジカード]を定めた場所に貼る。離さず健康保険証、鍵を持つことの徹底が必要。
阪本委員	<地域住民の危機管理意識の向上> (1) 地域防災力の強化 →あらゆる災害に備える為に「自助、共助（ご近所）・公助」三位一体の協力体制の構築の必要性の再確認。 (2) 地域防犯力の強化 →地域ならびに職域における犯罪を未然に防ぐ体制の構築の必要性。 ①特殊詐欺、②子どもの犯罪被害、③女性の犯罪被害、④自転車車上ねらいの被害etc. 上記の防犯対策を講じる。